

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人黒潮会 デイ支援センターみんなの力 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1クラスずつ、曜日、時間を区切っているので、1クラスあたりのスペースを広く使うことができる。	活動によって使う部屋を分けて過ごしやすい環境作りを心掛けている。	刺激の少ない環境設定を意識して行っていく。
2	子どもの行動の背景を見つめて支援を行っている。	子どもを見る視点を職員間で共有していると共に、発達についてもすり合わせを行っている。	発達支援について知識を深められるよう部署内研修等を定期的に行っていく。
3	いつもワクワクするような活動を提供できるよう、工夫している。	月案、日案を児童発達支援管理責任者が確認し、支援計画とすり合わせて活動内容を決めている。	振り返りと気づきシートを習慣化していく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員不足で利用回数を制限しなくてはならなかった。	職員数が減少したため、定員に達していなくても受け入れができなかった。	職員数の確保、質の向上に努めていく。
2	保護者同士の交流の場がほとんどない。	コロナ禍をきっかけに親子活動や保護者の集まりが減ってしまっている。	交流の場を設けたり、親子活動等を再開していきたい。
3	避難訓練等、実施しているが発信力が欠けており、保護者にしっかりと伝わっていない。	月間予定に記載しているのみなので伝わりにくい。	事前、事後に発信を心掛けていく。